

「求められている21世紀型能力」について語り合う
第2回幼稚園教頭(主任)研修会

去る11月27日(金)に第2回幼稚園教頭(主任)研修会を実施しました。

島尻教育研究所 上原雅志所長による「求められる21世紀型能力」についての提言があり、これについて、参加者全員でディスカッションを行いました。

当初は、いつもの研修の進行と違うスタイルに、戸惑いがちな29名の教頭先生方でしたが、上原所長から、繰り出される質問に自分なりの考えで、発言していく中で、21世紀型能力の基礎を培う幼児教育の重要性を確認することが出来たようです。



写真1 所長からの提言



写真2 ディスカッションの様子

【研修会の概要】

- 1 開会のことば
- 2 講師紹介
- 3 ディスカッション
「求められている21世紀型能力」
講師 島尻教育研究所 所長 上原雅志
- 4 お礼のことば
- 5 閉会のことば

【提案の概要】

- 1 社会の変化
 - (1) 社会の変化と求められる人材像
 - ① 課題・・・グローバル化、資源の有限化、少子高齢化
 - ② 解決策・・・知識基盤社会の進展
コミュニティを基盤とする社会への転換
情報通信技術 (ICT) の高度化と利活用
 - (2) 日本の強みと新しい社会の姿
 - (3) 日本の近年の教育政策と社会の変化
 - 教育は経済・社会に左右されない固有の普遍的な理念
 - 理念の具現化においては、社会の**変化**と無関係ではない。
 - (4) 教育課程編成への示唆
- 2 「21世紀型能力」
 - (1) 教育課程の編成原理と「21世紀型能力」
 - (2) 基礎力…言語、数、情報 (ICT) を目的に応じて道具として使いこなすスキル
 - (3) 思考力…「教育課程編成への示唆」で求められている力
 - (4) 実践力…思考力の使い方を方向付け、実生活で活用する能力
- 3 「21世紀型能力」と日本の教育課程
 - (1) 学力の3要素
 - 知識・・・「基本的な知識及び能力」
 - 能力・・・「課題解決の思考力・判断力・表現力」
 - 態度・・・「主体的に学習に取り組む態度」
 - 「何を知っているか」から「何ができるか」へ教育の重点を移す

H27年度 幼稚園関係研修の参加者数

研修名	参加者数
5/13 第1回幼稚園臨時的任用研修会	27
5/27 第1回幼稚園研究主任研修会	33
6/12 第1回幼稚園経年者研修会	28
6/25 第2回幼稚園臨時的任用研修会	51
7/1 第1回幼稚園教頭(主任)研修会	33
8/11 幼稚園教諭研修会	81
9/2 第2回幼稚園研究主任研修会	33
9/9 第3回幼稚園臨時的任用研修会	42
11/27 第2回幼稚園教頭(主任)研修会	31

359名

自主講座 参加者数

研修内容	参加者数
11/4 ①正月遊び教材の工夫	23
11/14 ②運動遊び	23

受講者の感想 (研修終了後のアンケートから)

○21世紀型能力の育成のために、私達が普段保育で実施していることを明確につなげて考えていくことが大切だと思いました。日々の保育を大切にしていきたいです。

○これからの子ども達が様々なことに対応できるように、豊かな体験を提供すること、一人ひとりを認めること、押しつけないこと等、私達がやるべきことを再確認することができました。忙しさをいい訳にしないで、これからも見識を深め、いろいろなことを工夫して、失敗を恐れずにチャレンジしていこうという気持ちが持てました。

○21世紀を担う子ども達に、どんな力をつけてあげればいいのかを考えたことはなかったのですが、基本的な生活習慣をしっかりと身に付ける子、意欲的に活動する子等、今やっている事をもう一度振り返り、自信をもって幼児教育を進めていきたいです。